



伊豆市立中伊豆中学校 学校便り

中 中 通 信

校訓 努力は必ず報われる

6 月号

文責 樋口正則

「新しい生活様式」

校長 高橋 直樹

学校が再開されて3週間が経ちました。朝からグラウンドや体育館で元気に体を動かす生徒の姿や、教室から聞こえてくる元気な歌声に改めて学校の『力』を感じる毎日です。

しかし、コロナウイルスが絶えたわけではなく、この数週間にも近隣の市町で感染症の罹患者が出ています。最近目にする「with コロナ」。コロナウイルスに罹らないよう改めて生活様式を振り返り、見直すことの重要性が叫ばれています。本校でもプリントや集会などで子どもたちに声をかけていますが、各ご家庭での生活も含めて習慣付けていくことも大事だと思います。今後ともよろしく願いいたします。

登校前の健康チェックを欠かさずに！

朝微熱があるにもかかわらず登校した子どもが感染源となり周囲に拡げてしまった、という記事を皆さんもご覧になった記憶があるのではないのでしょうか。本校では、健康チェックカードの提出と確認を毎朝昇降口で行っています。



給食でも新しいルールの徹底を

クラスの数が多い1年と2年については、教室内での配膳が密集・密接につながるため、廊下で配膳をしています。また、今年度は1年と2年が隣り合う教室配置となっているため、1年生には3階の空き教室での配膳・給食をお願いしています。配膳前の手洗いについても、石けんを使用して十分に手を洗うことを指導し、流し周辺に生徒が密集することのないように、ソーシャルディスタンスを意識して待つよう声かけや見届けをしています。さらに、クラス全員で「いただきます」をするまではマスクの着用を徹底し、食事中も含めて不要なおしゃべりは控え、全員が前（黒板の方）を向いて食べるように指導しています。



放課後の消毒作業

6月に入り、部活動も再開され、放課後のグラウンドにも元気な声が響き渡るようになってきています。部活動終了後、生徒の下校を見届けた先生方は、翌日に備えて各教室やその日に使用した特別教室、トイレなどの消毒作業を行っています。「子どもたちの元気な姿が毎日見られますように」と、願いつつ・・・。



集会なども十分な間隔を開けて

学校再開の初日となる先月の25日(月)朝、全校で朝礼を行い、学校生活における注意事項を確認しました。



体育館で開催しましたが、生徒同士の間隔を十分に開けて行いました。



8日(月)には、午後から緑流祭の結団式をグラウンドで開催しました。生徒同士の間隔を十分に確保した上で、暑さ対策もかねてマスクの取り外しも許可して行いました。

生徒会目標決まる・・・『咲』

2日(火)に行われた生徒集会では、生徒会の今年の目標『咲』が発表されました。この『咲』という一文字に「挨拶」「元気」「笑顔」という思いが込められており、中伊豆中学校全体に生徒皆さんの笑顔が咲くように頑張っていきたいという伊郷会長からの決意も伝えられました。一人でも多くの中中生の笑顔が見られるようにと願っています。



「中伊豆の温かさ」を実感

朝、県道に立ってバス通学や徒歩で県道を渡ってくる子たちを待っていると、わずか3週間ほどの間に複数のドライバーが会釈をしながら目の前を通っていくようになりました。中には保護者の方もいらっしゃるかもしれませんが驚きです。また、中伊豆小の子どもたちも始めの頃は「この人誰？」みたいに通り過ぎていましたが、最近では自分から先にあいさつをする子も増えてきました。たくさんの方々からのあいさつに、朝から心がほっこりしたり、「今日も1日頑張ろう」と勇気をいただいたりしています。ありがとうございます。

中伊豆という地域、そして中伊豆の皆さんの温かさに朝から励まされています。

送迎時のお願い

分散登校が浸透するにつれ、登下校時に送迎をされるご家庭が増えてきました。そこでお願いです。登下校時、学校前の道は学校やこども園への送迎の車、登校する生徒が集中し危険な状況にあります。道幅も狭くなっていますので乗降場所の配慮や発車・通過の際には注意をお願いします。また、学校や周辺施設での接触事故や器物破損の報告も受けております。送迎の際には時間に余裕を持ち、安全第一でお願いいたします。